

総括的評価のルーブリック

→レベル	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
↓評価要素				
劇の内容※1	学習していない、表現なども使って、一貫した(段階を踏んだ)流れで場面設定ができています。 (お礼を言う前に、前置きを言う、など)	授業の目的にあった場面が設定され、学習した非言語行動、言語行動を適切に使い、流れに不自然さがない。	設定した場面と使用されている表現が整合性に欠ける。	授業の目的にあった場面が設定されていない。
発表の構成	導入部にはじまり、劇の内容のまとめがはっきりと説明されていて、終結部までうまく構成されている。聴衆が意識されている。	導入、まとめ共に内容が過不足なく表現されており、なおかつ、聴衆が意識されている。	導入部、まとめのいずれかに、不十分なところがある。	導入部、まとめが意識されておらず、聴衆を全く意識していない。
パフォーマンス A (非言語行動)	自然な非言語行動が取れる。	多少の不自然さはあっても、日本人に不快をあたえない。	時々不快に感じられる行動が見られる。	非言語行動に注意、意識が向いていない。
パフォーマンス B (声の大きさ、発音、スピード)※2	よどみなく滑らかに話が進んでいる。発音も非常に正確で、意味が完全にわかる。はっきりした大きな声で話し、よく聞き取れる。	ときどき躊躇するところなどはあるが、発表を全部終えることができる。完全な発音ではないが、コミュニケーションには全く問題ない。意味はほぼ問題なくわかる。声もはっきりして、聞きやすい。	ときどき話が途切れ途切れになったり、スピーチがおそくなったり、言いよどみ、沈黙がある。発音の問題のために意味がわかりにくいところがある。声が小さくなるところもあり、聞きとりにくいところがある。	話が途切れ途切れで、長い沈黙があったり、言いよどみがあったりして、内容が理解しにくい。発音の問題が多く、意味がよくわからないところが多い。声が小さくなったり、ぶつぶつ口のなかでつぶやくようなところもある。
理解のしやすさ※2	文法、語彙※3、発音に多少問題はあるが、言いたいことは完全に理解できる。	文法、語彙、発音の大きな間違いがときどきあり、理解しにくいことはあるが、タスク達成の障害にはなっていない。	文法、語彙、発音の重大な間違いのために、ときどき理解できないことがある。	文法、語彙、発音の問題が多く、理解できない部分が多い。

- ※1 劇の内容のみ、スクリプトで評価する
- ※2 パフォーマンス B と理解のしやすさについては個人評価とする
- ※3 スクリプト提出時点で文法や語彙の修正を行っているため、ここの評価ではスクリプトとの祖語という視点で個人評価を行う。

※このフォームは要素分解評価の一例です。評価要素の数、評価レベルの設定は適宜変えてかまいません。

作り方の詳細については『外国語学習のめやす』 pp.068～「ルーブリックによる評価とその作り方」をご参照ください。